

はじめに

横浜市は、市民、事業者、行政の協働によって社会の新しいルールや仕組みを構築し、実践する、「創造的革新」に取り組んでいます。環境分野では、G30（ごみ減量・リサイクル）で発揮された市民の行動力を緑の創造につなげ、さらに地球環境を守る行動へ発展させる「横浜型環境行動」を推進するために、様々な事業を進めています。

この「横浜の環境」（横浜市環境管理計画年次報告書）は、横浜市における環境の現状や、横浜市環境管理計画に掲げた目標達成のための様々な施策・事業の取組について、毎年振り返りを行い、その結果を公表するものです。今回の報告書では、特集として、現在、世界的にも関心が高まっている地球温暖化問題に関して、本年2月に公表された「気候変動に関する政府間パネル（IPCC）」第4次評価報告書の内容や、関連する本市の取組についてまとめました。また、環境行動都市のシンボルとして横浜港に本年3月に完成した「横浜市風力発電所」（愛称：ハマウィング）及び、開港150周年（2009年）までに市民と協働して取り組む「150万本植樹行動」についても取り上げています。

地球温暖化など地球規模の環境問題は、誰一人として無関係ではあり得ない一方、様々な現象が複雑に関連し合い発生するため、原因や責任の所在が曖昧となり、他人事のように捉えがちです。しかし、地球温暖化は、予想を遥かに超えるスピードで進行し、その影響も世界中で顕在化しつつあります。このような危機的状況を回避するためには、私たち一人ひとりの行動が鍵を握っていることを改めて認識し、できることから直ちに実行に移していくことが重要です。この報告書の中では、地球温暖化対策をはじめ、緑と水にふれあえる街づくり、大気環境や水環境の保全などの生活環境対策や、環境教育など、横浜で現在取り組まれている多彩な事例を紹介しています。この報告書を通じて、皆様が横浜の環境の現況や市の取組などについて理解を深め、地球環境にやさしい行動の実践に結び付けていただければ幸いです。横浜市はこれからも、「地域から地球に広がる環境行動都市の創造」をめざし、不断の努力を重ねてまいりますので、市民・事業者の皆様の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

横浜市長 中田 宏